

ALL, NHL 初発・進行期、再発  
HYPER-CVAD/MA (2, 4, 6, 8コース)

患者ID: @PATIENTID

1 コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 21日間

目標: 8コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Do	#VALUE!

使用薬剤: メソトレキサート (MTX) : メソトレキサート注 200mg/V, 50mg/V, 5mg/V

シタラビン (Ara-C) : シタラビンN 400mg/20mL/A, 1g/50mL/A

ホリナートカルシウム (LV) : ロイコボリン注3mg/A、ロイコボリン錠5mg

使用基準:

肝障害、腎障害、胸水、腹水のある患者には投与禁忌

指示: 点滴開始後、尿pH7.0以上、時間尿量100mL以上、1日尿量2000mL以上が目標

尿量測定: 毎日 体重測定: 毎日起床時

検尿にてpH6.5以下の時、炭酸水素Na7%20mL静注

利尿剤はダ'イモックス静注用250mg (0.5A) (2回/日まで) 使用。70セリト'原則使用不可。

シタラビンによる眼症状予防に0.1%サンベタゾン点眼液をday2~day12まで使用すること。

(day2~5: 1日6回点眼、day6~12: 1日4回点眼)

シタラビンは60歳以上または血清Cre値が1.5mg/dL以上の場合は1000mg/m<sup>2</sup>/回へ減量すること。

707'リノール含嗽を適宜使用すること。

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
メソトレキサート	200 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
メソトレキサート	800 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
シタラビンN	6000 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		2, 3

薬剤	投与量	投与方法	
ロイコボリン注3mg	5A/回	静脈注射	MTX投与終了24時間後より6時間間隔で8回 (24, 30, 36, 42, 48, 54, 60, 66時間後の計8回)
ロイコボリン錠5mg	3T/回	含嗽・内服	

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

内服 ロイコボリン注と同スケジュールでロイコボリン錠5mg3Tを水100mLに溶解し、  
出来上がったロイコボリン溶解液で含嗽後、口に含んだまま内服する。

注射 下記のタイムスケジュールで行う

day0 1月1日 (金)

- 0時00分 ① アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注
- 4時00分 ② アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注
- 8時00分 ③ アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注

day1 1月2日 (土)

- 12時00分 ① アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注
- 16時00分 ② アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注
- 9時30分 ③ 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A  
15分で点滴静注
- 9時45分 ④ 生理食塩液 250mL + メソトレキサート 0mg  
2時間で点滴静注
- 20時00分 ⑤ アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注
- 11時45分 ⑥ 生理食塩液 250mL + メソトレキサート 0mg  
22時間で点滴静注
- 0時00分 ⑦ アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注
- 4時00分 ⑧ アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注
- 8時00分 ⑨ アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A  
4時間で点滴静注

day2

1月3日 (日)

外用

0.1%サンベタゾン点眼液 (シタラビンによる眼症状予防) 1日6回点眼

12時00分	①	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
16時00分	②	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
9時45分	③	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1 A 15分で点滴静注	
20時00分	④	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
10時00分	⑤	生理食塩液 250mL + シタラビン 0mg 2時間で点滴静注	0.0mL
0時00分	⑥	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
4時00分	⑦	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
8時00分	⑧	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
22時00分	⑨	生理食塩液 250mL + シタラビン 0mg 2時間で点滴静注	0.0mL

day3

1月4日 (月)

外用

0.1%サンベタゾン点眼液 (シタラビンによる眼症状予防) 1日6回点眼

2時00分	①	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
6時00分	②	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
9時45分	③	生理食塩液 100mL + ロイコボリン 5A (1回目; 投与終了24時間後) 30分で点滴静注	
10時00分	④	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
10時00分	⑤	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1 A 15分で点滴静注	
10時15分	⑥	生理食塩液 250mL + シタラビン 0mg 2時間で点滴静注	0.0mL
14時00分	⑦	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
15時45分	⑧	生理食塩液 100mL + ロイコボリン 5A (2回目; 投与終了30時間後) 30分で点滴静注	
18時00分	⑨	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
21時45分	⑩	生理食塩液 100mL + ロイコボリン 5A (3回目; 投与終了36時間後) 30分で点滴静注	
22時00分	⑪	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
22時15分	⑫	生理食塩液 250mL + シタラビン 0mg 2時間で点滴静注	0.0mL

day4

1月5日 (火)

外用

0.1%サンベタゾン点眼液 (シタラビンによる眼症状予防) 1日6回点眼

2時00分	①	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
3時45分	②	生理食塩液 100mL + ロイコボリン 5A (4回目; 投与終了42時間後) 30分で点滴静注	
6時00分	③	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
9時45分	④	生理食塩液 100mL + ロイコボリン 5A (5回目; 投与終了48時間後) 30分で点滴静注	
10時00分	⑤	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
14時00分	⑥	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
15時45分	⑦	生理食塩液 100mL + ロイコボリン 5A (6回目; 投与終了54時間後) 30分で点滴静注	
18時00分	⑧	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	
21時45分	⑨	生理食塩液 100mL + ロイコボリン 5A (7回目; 投与終了60時間後) 30分で点滴静注	
22時00分	⑩	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A 4時間で点滴静注	

-----

day5	1月6日	(水)	<b>外用</b>	0.1%サンベタゾン点眼液 (シタラビンによる眼症状予防)	1日6回点眼
	2時00分		①	アクチット 500mL + 炭酸水素Na7% 20mL 2A	
				4時間で点滴静注	
	3時45分		②	生理食塩液 100mL + ロイコボリン 5A	(8回目; 投与終了66時間後)
				30分で点滴静注	

-----

day6	1月7日	(木)	~	day12	1月13日	(水)	<b>外用</b>	0.1%サンベタゾン点眼液 (シタラビンによる眼症状予防)	1日4回点眼
------	------	-----	---	-------	-------	-----	-----------	-------------------------------	--------

-----

REFERENCE

Paul Bowman, Jonathan J. Shuster, Bruce Cook et al. J Clin Oncol. 1996;14:1252-1261  
Improved survival for children with B-cell acute lymphoblastic leukemia and stage IV small noncleaved-cell lymphoma:  
a pediatric oncology group study

Issa F. Khouri, Jorge Romaguera, Hagop Kantarjian et al. J Clin Oncol. 1998;16:3803-3809  
Hyper-CVAD and high-dose Methotrexate/Cytarabine followed by stem-cell transplantation:an active regimen for aggressive  
mantle-cell lymphoma

2011年9月度化学療法プロトコール審査委員会承認: 2011年9月12日 更新: 2016年2月8日